

## 血はなぜ赤い？

包丁などで指をちょっと切ったとき、赤い血を見ると痛さが倍増しますね。今回は、『なぜ血は赤いのか』についてご紹介します。血液は、液体と血球と2つの成分からなっており、この中にある赤血球が「赤」の原因です。

赤血球は、体内に酸素を運ぶという大変重要な役割をもっています。酸素と結合する物質は「**ヘモグロビン**」といって、鉄のような組成なので赤いのです。酸素を多く含んだ動脈の血は真っ赤ですが、酸素が使われた静脈は赤黒くなります。ちなみに、タコやイカ、カニなどの血液は「**ヘモシアニン**」といって銅を含んでいるので青色なんです。



<http://matome.naver.jp/>